

来週の「売り物」記事はこれ



2014年4月25日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

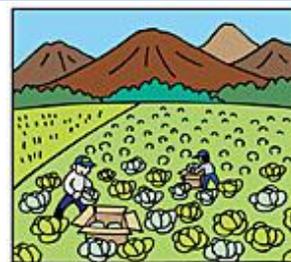
売ります！ 福島野菜

風評被害と闘う男たち

27日（日）



うまし、うつくし——。福島県のキャッチフレーズです。<うまし>と高らかにうたわれているように、3年前の「あの日」まで、全国トップクラスの生産高を誇る園芸作物王国でした。品質も優れ、福島産品が市場価格を決めるプライスリーダーの地位を占めるほどでした。しかし、深刻な原発事故で状況は一変しました。風評の



影響で市場での取引価格は下落、福島の農業は存亡の危機に立たされたのです。福島産の野菜、果物に寄せられる根も葉もない罵詈雑言……。それにあらがうように、関係者の懸命な努力が続きました。そして、被災3年目にしてようやく一筋の光が見え始めたのです。JA全農福島県本部の若手職員を目を通して、「敗れざる者たち」のドラマを描きます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

大型連休スタート

東北観光で復興支援はいかが？

夕刊2面特集ワイド 28日（月）



いよいよ始まった大型連休。まだ行き先が決まらない皆さん、東日本大震災の被災地へ行ってみませんか。「ボランティアはできないし」とか、「復興の妨げになるのでは」などと心配する必要はありません。被災地で買って食べて飲むことが結果的に被災地支援になります。そして、風化を懸念する被災者にとっては、多くの人が被災地を訪れてくれることが何よりの励みです。復興商店街、語り部タクシー、温泉……。東北観光のみどころを紹介します。

インサイド「変化の時 ～大学スポーツの新潮流～」

29日（火）から6回

2020年の東京五輪開催が決定し半年余。現在の大学生世代が日本代表の主力を担いますが、その大学スポーツに新しい潮流が生まれています。「文武両道」を前面に押し出す早大、東京五輪に向けて着々と強化を進める東洋大、新しい入学制度でアスリート支援を広げる日体大……。東京五輪に向けて動き出した大学スポーツの“今”を追います。



「女の気持ちをたずねて」 おんなのしんぶん面 28 日 (月)



奈良市の河野多津子さん (73) は、30 年ほど前から、日本縦断と同じ距離にあたる 3000 ㎞ を泳ぐことを目標にしています。自宅の壁には「月 10 ㎞ 以上 100 才までに達成する」という張り紙が。



新コーナー「就活力」 くらしナビ面 28 日 (月)

大学生を中心とした「就活のいま」をリポートする「就活力」がスタートします。1 回目は就活の親子ギャップについて。現在の就活生の親世代は、バブル期の入社組が多く、売り手市場の中での就職活動でした。その時代の常識を引きずったまま、今の就活生にアドバイスしようとするとうまくない混乱を招きかねません。



連載企画「てんかんと生きる」

くらしナビ面 29 日 (火) ~ 5 月 2 日 (金)



国内のてんかん患者は約 100 万人とされています。患者に対しては、就労を中心に今も差別や偏見が根強く残っています。てんかんの発作は多種多様で、個人差の大きいものですが、一律に扱われ、当事者たちの多くは「なぜ症状に応じた就労の適否を判断してくれないのか」と感じています。

総力取材！

保存版 憲法記念日特集 5 月 3 日 (土)



安倍晋三首相=写真=は集団的自衛権の行使を可能にするため、憲法 9 条の解釈を変える検討を進めています。日本の安全保障政策と憲法の関わりを、歴史的経緯や海外の事例も交え、2 ページにわたって多角的に特集します。